

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（大船渡市内のこども園）

園児 120 名、職員 32 名

- (1) 4月8日(月)に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、4月4日(木)から4月8日(月)にかけて、園児21名、職員4名に嘔吐等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	40歳代	50歳代	
男	0	4	3	1	1	2	0	0	0	11
女	0	5	2	0	2	1	1	2	1	14
計	0	9	5	1	3	3	1	2	1	25

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 4 月 10 日	3	0	0	3
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 10 日	3 (61)	0 (0)	0 (12)	3 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 10 日	0 (31)	0 (5)	0 (12)	0 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（一関市内の保育所）

園児 93 名、職員 22 名

- (1) 4月9日（火）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、4月2日（火）から4月11日（木）にかけて、園児22名、職員1名に嘔吐等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児2名を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	2 (1)	3	3	2	1	1	0	12 (1)
女	1	5	1 (1)	1	1	1	1	11 (1)
計	3 (1)	8	4 (1)	3	2	2	1	23 (2)

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者6名からロタウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 4 月 12 日	4	1	0	5
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 12 日	3 (61)	0 (0)	0 (12)	3 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 12 日	0 (31)	0 (5)	0 (12)	0 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 北上市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 111 名、職員 28 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月15日（月）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、4月1日（月）から4月14日（日）にかけて、園児17名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児3名が入院したが、既に全員退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）					職員		計
	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	30歳代	50歳代	
男	4	1	1	3 (2)	1	0	0	10 (2)
女	3	1 (1)	0	1	2	1	1	9 (1)
計	7	2 (1)	1	4 (2)	3	1	1	19 (3)

（ ）内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からロタウイルス、有症者1名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 北上市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 76 名、職員 26 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月15日（月）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、4月5日（金）から4月16日（火）にかけて、園児14名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	1	1	3	2	0	0	8
女	0	3	2	0	0	1 (1)	0	6 (1)
計	1	4	3	3	2	1 (1)	0	14 (1)

（ ）内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者1名からロタウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 4 月 17 日	5	2	1	8
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 17 日	4 (61)	0 (0)	0 (12)	4 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 17 日	0 (31)	0 (5)	0 (12)	0 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（花巻市内の幼稚園）

園児 79 名、職員 15 名

- (1) 4月22日（月）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、4月16日（火）から4月22日（月）にかけて、園児13名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児 2 名が入院したが、既に全員退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）			計
	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	5 (1)	1	6 (1)
女	2	5 (1)	0	7 (1)
計	2	10 (2)	1	13 (2)

() 内は入院患者再掲

2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者5名からロタウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 4 月 23 日	5	5	1	11
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 23 日	5 (61)	0 (0)	0 (12)	5 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 23 日	1 (31)	1 (5)	0 (12)	2 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 八幡平市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 95 名、職員 17 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月19日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢の症状を呈し、医療機関でノロウイルス検査陽性であった旨の連絡あり。

イ 県央保健所が調査を開始し、4月15日（月）から4月20日（土）にかけて、園児10名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	3	3	0	1	1	8
女	0	1	0	0	1	0	2
計	0	4	3	0	2	1	10

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 八幡平市内のこども園

(1) 施設の概要について

園児 94 名、職員 20 名

(2) 有症者の状況等

ア 4月19日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢の症状を呈し、医療機関でロタウイルス検査陽性であった旨の連絡あり。

イ 県央保健所が調査を開始し、4月9日（火）から4月22日（月）にかけて、園児11名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	0	0	0	2	4	7
女	0	0	1	2	0	1	4
計	1	0	1	2	2	5	11

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者9名からロタウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 4 月 24 日	7	7	1	15
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 24 日	5 (61)	0 (0)	1 (12)	6 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 24 日	1 (31)	1 (5)	0 (12)	2 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（一関市内の保育所）

園児68名、職員20名

- (1) 4月24日（水）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、4月1日（月）から4月25日（木）にかけて、園児13名、職員4名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	40歳代	
男	0	0	4	1	1	0	0	0	0	6
女	0	2	0	2	0	3	1	1	2	11
計	0	2	4	3	1	3	1	1	2	17

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成31年4月1日～ 平成31年4月26日	8	7	1	16
平成30年4月1日～ 平成30年4月26日	6 (61)	0 (0)	1 (12)	7 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年4月26日	1 (31)	1 (5)	0 (12)	2 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 北上市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 36名、職員 18名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月9日（木）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月7日（火）から5月10日（金）にかけて、園児10名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位：人)

区分	園児（クラス別）			計
	0歳児	1歳児	2歳児	
男	3	1	2	6
女	2	1	1	4
計	5	2	3	10

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 山田町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 49名、職員 16名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月10日（金）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢・発熱の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月8日（水）から5月12日（日）にかけて、園児15名に嘔吐・下痢、発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した園児1名を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】 (単位：人)

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	2	3	0	0	0	3	8
女	0	2	1	3	1	0	7
計	2	5	1	3	1	3	15
						(1)	(1)

() 内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 令和元年 5 月 13 日	10	7	1	18
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 13 日	9 (61)	0 (0)	1 (12)	10 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 5 月 13 日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（山田町内の保育所）

園児47名、職員14名

- (1) 5月13日（月）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月10日（金）から5月13日（月）にかけて、園児10名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	30歳代	50歳代	
男	1	2	0	1	1	1	0	0	6
女	1	2	1	0	0	0	1	1	6
計	2	4	1	1	1	1	1	1	12

2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年5月14日	11	7	1	19
平成30年4月1日～ 平成30年5月14日	10 (61)	0 (0)	1 (12)	11 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年5月14日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（陸前高田市内の保育所）

園児63名、職員16名

- (1) 5月13日（月）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、5月10日（金）から5月14日（火）にかけて、園児10名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				職員		計
	0-1歳児	2歳児	3-4歳児	4-5歳児	20歳代	30歳代	
男	2	0	1	0	1	0	4
女	5	0	1	1	0	1	8
計	7	0	2	1	1	1	12

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年5月15日	13	7	1	21
平成30年4月1日～ 平成30年5月15日	10 (61)	0 (0)	1 (12)	11 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年5月15日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（山田町内の保育所）

園児 73 名、職員 19 名

- (1) 5月13日（月）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 宮古保健所が調査を開始し、4月24日（水）から5月14日（火）にかけて、園児18名、職員6名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	50歳代	
男	2	1	3	1	1	0	0	0	0	8
女	3	4	0	1	1	1	1	3	2	16
計	5	5	3	2	2	1	1	3	2	24

2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年5月16日	14	7	1	22
平成30年4月1日～ 平成30年5月16日	11 (61)	0 (0)	1 (12)	12 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年5月16日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 北上市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 71 名、職員 20 名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月15日（水）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月13日（月）から5月17日（金）にかけて、園児18名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）					職員		計
	0-1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	40歳代	70歳代	
男	2	2	4	0	3	0	0	11
女	3	1	1	1	1	1	1	9
計	5	3	5	1	4	1	1	20

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 金ケ崎町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 107 名、職員 26 名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月13日（月）に、管内医療機関から奥州保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、5月8日（水）から5月16日（木）にかけて、園児16名に嘔吐・下痢・発熱等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した園児1名（既に退院）を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	0	0	4 (1)	0	0	4 (1)
女	2	0	0	10	0	0	12
計	2	0	0	14 (1)	0	0	16 (1)

（ ）内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からロタウイルスを検出。
- イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 金ヶ崎町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 123 名、職員 35 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月13日(月)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、5月8日(水)から5月17日(金)にかけて、園児74名、職員1名に嘔吐・下痢・発熱等の症状があったことを確認。

ウ 入院した園児2名(既に退院)を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児(クラス別)						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	50歳代	
男	5 (2)	14	3	9	9	5	0	45 (2)
女	1	9	6	6	4	3	1	30
計	6 (2)	23	9	15	13	8	1	75 (2)

()内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

4 一関市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 98 名、職員 23 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月13日(月)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、5月10日(金)から5月16日(木)にかけて、園児30名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院した園児4名(3名は既に退院)を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児(クラス別)						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	2	1	3	6	1	2	15
女	1 (1)	3	2 (1)	5 (1)	2 (1)	2	15 (4)
計	3 (1)	4	5 (1)	11 (1)	3 (1)	4	30 (4)

()内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からロタウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

5 田野畑村内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 57 名、職員 20 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月17日(金)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が発熱・嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月14日（火）から5月17日（金）にかけて、園児24名、職員5名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員				計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	
男	0	1	3	1	0	4	0	0	0	0	9
女	1	5	3	1	1	4	1	2	1	1	20
計	1	6	6	2	1	8	1	2	1	1	29

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年5月20日	17	9	1	27
平成30年4月1日～ 平成30年5月20日	11 (61)	0 (0)	1 (12)	12 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年5月20日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（一関市内の保育所）

園児 42名、職員 17名

- (1) 5月14日（火）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、5月10日（金）から5月16日（木）にかけて、園児11名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				職員	計
	0・1歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児		
男	4	2	1	0	0	7
女	2	2	0	0	0	4
計	6	4	1	0	0	11

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年5月21日	18	9	1	28
平成30年4月1日～ 平成30年5月21日	11 (61)	0 (0)	1 (12)	12 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年5月21日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 花巻市内の中学校

(1) 施設の概要について

生徒80名、職員14名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月27日（月）に、花巻市教育委員会から中部保健所へ、複数名の当該施設生徒が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月26日（日）から5月28日（火）にかけて、生徒11名、職員以外の部活動関係者(コーチ等)6名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	生徒(学年別)			職員以外の 部活動関係者 (コーチ等)	計
	1学年	2学年	3学年		
男	4	5	1	5	15
女	0	0	1	1	2
計	4	5	2	6	17

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 西和賀町内の小学校

(1) 施設の概要について

児童76名、職員21名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月27日（月）に、西和賀町教育委員会から中部保健所へ、複数名の当該施設児童が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月9日（木）から5月28日（火）にかけて、児童34名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した児童2名（既に退院）を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	児童(学年別)						計
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
男	6	4 (1)	4	4	2	2	22 (1)
女	1	2 (1)	3	1	4	1	12 (1)
計	7	6 (2)	7	5	6	3	34 (2)

() 内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者7名からロタウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 宮古市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 59 名、職員 22 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月28日(火)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が腹痛・嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月20日(月)から5月28日(火)にかけて、園児12名、職員2名に嘔気・嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児(クラス別)			職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	20歳代	30歳代	
男	0	1	0	0	0	1
女	5	2	2	1	1	11
計	5	3	2	1	1	12

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

4 宮古市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 28 名、職員 9 名

(2) 有症者の状況等

ア 5月28日(火)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が腹痛・嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月19日(日)から5月27日(月)にかけて、園児20名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児(クラス別)			計
	0歳児	1歳児	2歳児	
男	1	5	2	8
女	3	4	5	12
計	4	9	7	20

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者11名からノロウイルスを検出。

イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年5月29日	24	10	1	35
平成30年4月1日～ 平成30年5月29日	16 (61)	0 (0)	1 (12)	17 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年5月29日	3 (31)	4 (5)	4 (12)	11 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（宮古市内の幼稚園）

園児 208 名、職員 29 名

- (1) 5月28日（火）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が腹痛・嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月20日（月）から5月30日（木）にかけて、園児14名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児			職員	計
	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	4	3	2	0	9
女	4	0	1	1	6
計	8	3	3	1	15

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年5月31日	25	10	1	36
平成30年4月1日～ 平成30年5月31日	19 (61)	0 (0)	1 (12)	20 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年5月31日	3 (31)	5 (5)	5 (12)	13 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（金ヶ崎町内の保育園）

園児106名、職員26名

- (1) 5月30日（木）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 奥州保健所が調査を開始し、5月22日（水）から6月2日（日）にかけて、園児21名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	50歳代	
男	2	3	0	3	1	2	0	0	11
女	3	3	1	2	1	0	1	1	12
計	5	6	1	5	2	2	1	1	23

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年6月3日	26	10	1	37
平成30年4月1日～ 平成30年6月3日	19 (61)	0 (0)	1 (12)	20 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年6月3日	4 (31)	5 (5)	5 (12)	14 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 花巻市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 100名、職員 32名

(2) 有症者の状況等

- ア 6月3日（月）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月30日（木）から6月3日（月）にかけて、園児11名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	3	1	0	0	0	4
女	0	6	1	0	0	0	7
計	0	9	2	0	0	0	11

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からロタウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 山田町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 27名、職員 10名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月31日（金）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月25日（土）から5月31日（金）にかけて、園児12名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	0	1	2	1	0	4
女	1	3	0	2	1	1	8
計	1	3	1	4	2	1	12

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 令和元年 6 月 4 日	27	11	1	39
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 4 日	21 (61)	0 (0)	1 (12)	22 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 4 日	4 (31)	5 (5)	5 (12)	14 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（宮古市内の保育園）

園児 52 名、職員 13 名

- (1) 6月4日（火）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、6月1日（土）から6月4日（火）にかけて、園児11名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	1	1	3	1	0	7
女	0	2	0	1	0	1	4
計	1	3	1	4	1	1	11

2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年6月5日	28	11	1	40
平成30年4月1日～ 平成30年6月5日	24 (61)	0 (0)	1 (12)	25 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年6月5日	4 (31)	5 (5)	5 (12)	14 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 雫石町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 96 名、職員 25 名

(2) 有症者の状況等

- ア 5月31日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 県央保健所が調査を開始し、5月27日（月）から6月5日（水）にかけて、園児16名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	40歳代	
男	1	0	0	1	2	0	0	0	4
女	3	1	1	3	2	2	1	1	14
計	4	1	1	4	4	2	1	1	18

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 花巻市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 82 名、職員 29 名

(2) 有症者の状況等

- ア 6月4日（火）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 中部保健所が調査を開始し、5月28日（火）から6月4日（火）にかけて、園児12名、職員3名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	4	0	0	2	0	1	0	7
女	3	1	1	0	0	0	3	8
計	7	1	1	2	0	1	3	15

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 令和元年 6 月 6 日	30	12	1	43
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 6 日	25 (61)	0 (0)	1 (12)	26 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 6 日	4 (31)	5 (5)	5 (12)	14 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 花巻市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 79 名、職員 22 名

(2) 有症者の状況等

- ア 6月6日(木)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月27日(月)から6月8日(土)にかけて、園児15名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)					職員	計
	0-1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	40 歳代	
男	4	4	1	1	0	0	10
女	3	2	0	0	0	1	6
計	7	6	1	1	0	1	16

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 宮古市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 53 名、職員 13 名

(2) 有症者の状況等

- ア 6月6日(木)に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月14日(火)から6月9日(日)にかけて、園児34名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した園児1名(既に退院)を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)						職員	計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	50 歳代	
男	1	2	5	3	7	2 (1)	0	20 (1)
女	1	1	1	4	3	4	2	16
計	2	3	6	7	10	6 (1)	2	36 (1)

() 内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- イ 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 令和元年 6 月 10 日	32	12	2	46
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 10 日	27 (61)	0 (0)	1 (12)	28 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 10 日	6 (31)	5 (5)	5 (12)	16 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|---|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</p> <p>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。</p> <p>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</p> <p>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|---|

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（宮古市内の認定こども園）

園児128名、職員17名

- (1) 6月10日（月）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、6月6日（木）から6月12日（水）にかけて、園児38名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児1名（既に退院）を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】（単位：人）

区分	園児（クラス別）			職員	計
	3歳児	4歳児	5歳児	30歳代	
男	5	11	8	0	24
女	6 (1)	4	4	1	15 (1)
計	11 (1)	15	12	1	39 (1)

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年6月13日	34	12	2	48
平成30年4月1日～ 平成30年6月13日	29 (61)	0 (0)	1 (12)	30 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年6月13日	7 (31)	5 (5)	5 (12)	17 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス及びロタウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 滝沢市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 140 名、職員 40 名

(2) 有症者の状況等

- ア 6月11日（火）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、5月23日（木）から6月15日（土）にかけて、園児39名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 入院した園児1名（既に退院）を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	50歳代	
男	1	3	7	0	6	1	0	0	18
女	2	5 (1)	7	2	5	0	1	1	23 (1)
計	3	8 (1)	14	2	11	1	1	1	41 (1)

（ ）内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者8名からロタウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 花巻市内の小学校

(1) 施設の概要について

児童 205 名、職員 17 名

(2) 有症者の状況等

- ア 6月5日（水）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設児童が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月28日（火）から6月17日（月）にかけて、児童17名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
男	1	3	2	1	1	1	9
女	2	1	4	1	0	0	8
計	3	4	6	2	1	1	17

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からロタウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 花巻市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 63 名、職員 20 名

(2) 有症者の状況等

ア 6月14日（金）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、6月4日（火）から6月13日（木）にかけて、園児18名、職員3名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）					職員	計
	0-1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	40 歳代	
男	3	2	0	1	2	0	8
女	4	2	0	4	0	3	13
計	7	4	0	5	2	3	21

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

(盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 令和元年 6 月 17 日	35	14	2	51
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 17 日	29 (61)	0 (0)	1 (12)	30 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 17 日	12 (31)	5 (5)	6 (12)	23 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 滝沢市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 51 名、職員 24 名

(2) 有症者の状況等

ア 6月14日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、6月11日（火）から6月16日（日）にかけて、園児17名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	1	0	3	2	1	2	0	9
女	0	2	3	0	3	0	1	9
計	1	2	6	2	4	2	1	18

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一戸町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 64 名、職員 16 名

(2) 有症者の状況等

ア 6月17日（月）に、当該施設から二戸保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、二戸保健所が調査を開始し、6月9日（日）から6月16日（日）にかけて、園児10名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	3	0	1	1	0	5
女	1	1	1	0	1	1	5
計	1	4	1	1	2	1	10

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 二戸保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 令和元年 6 月 18 日	37	14	2	53
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 18 日	30 (61)	0 (0)	1 (12)	31 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 18 日	12 (31)	5 (5)	6 (12)	23 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|---|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</p> <p>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。</p> <p>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</p> <p>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|---|

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（矢巾町内の保育所）

園児122名、職員31名

- (1) 6月20日（木）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、6月16日（日）から6月22日（土）にかけて、園児25名、職員4名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	40歳代	
男	1	2	2	2	4	2	0	0	0	13
女	1	5	0	1	3	2	2	1	1	16
計	2	7	2	3	7	4	2	1	1	29

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年6月26日	45	14	2	61
平成30年4月1日～ 平成30年6月26日	33 (61)	0 (0)	1 (12)	34 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年6月26日	12 (31)	5 (5)	6 (12)	23 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（八幡平市内の保育所）

園児 93名、職員 20名

- (1) 7月9日（火）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、7月4日（木）から7月10日（水）にかけて、園児11名、職員4名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	
男	0	4	1	2	0	1	0	0	8
女	0	0	0	2	1	0	1	3	7
計	0	4	1	4	1	1	1	3	15

2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成31年4月1日～ 令和元年7月12日	47	14	3	64
平成30年4月1日～ 平成30年7月12日	38 (61)	0 (0)	1 (12)	39 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年7月12日	14 (31)	5 (5)	7 (12)	26 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（一関市内の認定こども園）

園児 89名、職員 28名

- (1) 7月24日（水）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、7月13日（土）から7月25日（木）にかけて、園児14名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	0	0	1	2	2	3	0	8
女	0	0	2	0	4	0	1	7
計	0	0	3	2	6	3	1	15

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年7月26日	49	14	3	66
平成30年4月1日～ 平成30年7月26日	38 (61)	0 (0)	2 (12)	40 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年7月26日	15 (31)	5 (5)	8 (12)	28 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、アデノウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（一関市内の保育所）

園児 78名、職員 28名

- (1) 10月29日（火）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、10月15日（火）から10月31日（木）にかけて、園児20名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）					職員	計
	0、1歳児	1、2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	3	1	3	1	4	0	12
女	0	2	2	1	3	0	8
計	3	3	5	2	7	0	20

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からアデノウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年11月5日	51	14	8	73
平成30年4月1日～ 令和元年11月5日	40 (61)	0 (0)	4 (12)	44 (73)
平成29年4月1日～ 令和元年11月5日	18 (31)	5 (5)	10 (12)	33 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（一関市内の保育所）

園児32名、職員13名

- (1) 11月29日（金）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、11月27日（水）から12月1日（日）にかけて、園児13名、職員2名に嘔吐等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）			職員		計
	0、1歳児	2、3歳児	4、5歳児	20歳代	30歳代	
男	2	3	1	0	0	6
女	1	3	3	1	1	9
計	3	6	4	1	1	15

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年12月2日	52	14	10	76
平成30年4月1日～ 令和元年12月2日	40 (61)	0 (0)	7 (12)	47 (73)
平成29年4月1日～ 令和元年12月2日	18 (31)	5 (5)	10 (12)	33 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルス、アデノウイルス及びサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 滝沢市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 126 名、職員 47 名

(2) 有症者の状況等

ア 11月29日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が下痢症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、11月18日（月）から11月28日（木）にかけて、園児32名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	5	5	3	1	0	0	0	14
女	6	8	3	1	0	0	0	18
計	11	13	6	2	0	0	0	32

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 八幡平市内のこども園

(1) 施設の概要について

園児 100 名、職員 21 名

(2) 有症者の状況等

ア 11月29日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、11月16日（土）から11月28日（木）にかけて、園児8名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	2	0	1	0	0	0	0	3
女	4	0	0	0	1	0	0	5
計	6	0	1	0	1	0	0	8

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、4名からアデノウイルス及びサポウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 久慈市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 62 名、職員 17 名

(2) 有症者の状況等

ア 11月29日（金）に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の当該施設園児が胃腸炎症状で休んでいる旨の連絡あり。

イ 同日から、久慈保健所が調査を開始し、11月25日（月）から12月2日（月）にかけて、園児27名、職員3名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児		
男	1	2	3	2	4	2	0	14
女	5	1	3	1	1	2	3	16
計	6	3	6	3	5	4	3	30

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 久慈保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年12月3日	53	14	12	79
平成30年4月1日～ 平成30年12月3日	40 (61)	0 (0)	8 (12)	48 (73)
平成29年4月1日～ 平成29年12月3日	18 (31)	5 (5)	10 (12)	33 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（一関市内の認定こども園）

園児 245名、職員 35名

- (1) 12月6日（金）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、11月26日（火）から12月9日（月）にかけて、園児50名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	1	0	8	13	8	30
女	0	0	0	2	8	10	20
計	0	1	0	10	21	18	50

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年12月9日	54	14	12	80
平成30年4月1日～ 令和元年12月9日	41 (61)	0 (0)	8 (12)	49 (73)
平成29年4月1日～ 令和元年12月9日	18 (31)	5 (5)	11 (12)	34 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（北上市内の認定こども園）

園児 132 名、職員 36 名

- (1) 12月11日（水）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月2日（月）から12月12日（木）にかけて、園児19名、職員3名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	2	3	4	1	0	0	0	10
女	4	4	1	0	0	0	3	12
計	6	7	5	1	0	0	3	22

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和元年12月13日	55	14	12	81
平成30年4月1日～ 令和元年12月13日	44 (61)	0 (0)	9 (12)	53 (73)
平成29年4月1日～ 令和元年12月13日	18 (31)	5 (5)	11 (12)	34 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 滝沢市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児131名、職員40名

(2) 有症者の状況等

ア 1月10日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月7日（火）から1月10日（金）にかけて、園児15名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	50歳代	
男	8	1	0	0	1	0	0	10
女	4	0	0	0	1	0	1	6
計	12	1	0	0	2	0	1	16

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 遠野市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児97名、職員24名

(2) 有症者の状況等

ア 1月10日（金）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月7日（火）から1月13日（月）にかけて、園児16名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院した園児2名（既に1名は退院）を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	4	1	1	0	0	2	8
						(1)	(1)
女	4	1	0	1	1	1	8
	(1)						(1)
計	8	2	1	1	1	3	16
	(1)					(1)	(2)

()内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年1月15日	57	14	14	85
平成30年4月1日～ 平成31年1月15日	47 (61)	0 (0)	10 (12)	57 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年1月15日	19 (31)	5 (5)	12 (12)	36 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。 |
|---|

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（滝沢市内の保育所）

園児 146名、職員 44名

- (1) 1月15日（水）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月7日（火）から1月16日（木）にかけて、園児23名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	5	5	0	0	0	1	11
女	9	3	0	0	0	0	12
計	14	8	0	0	0	1	23

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年1月20日	60	14	15	89
平成30年4月1日～ 平成31年1月20日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年1月20日	21 (31)	5 (5)	12 (12)	38 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（遠野市内の保育所）

園児 62名、職員 19名

- (1) 1月20日（月）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月14日（火）から1月21日（火）にかけて、園児21名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	1	2	0	2	2	8
女	1	1	6	2	3	0	13
計	2	2	8	2	5	2	21

2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年1月22日	63	14	15	92
平成30年4月1日～ 平成31年1月22日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年1月22日	21 (31)	5 (5)	12 (12)	38 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 雫石町内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 62名、職員 16名

(2) 有症者の状況等

ア 1月20日（月）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、1月13日（月）から1月21日（火）にかけて、園児9名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	
男	1	1	1	0	0	0	0	0	3
女	2	3	1	0	0	0	1	1	8
計	3	4	2	0	0	0	1	1	11

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 遠野市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 95名、職員 24名

(2) 有症者の状況等

ア 1月21日（火）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、1月17日（金）から1月22日（水）にかけて、園児26名、職員4名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	50歳代	60歳代	
男	6	3	1	0	2	1	0	0	0	13
女	1	6	1	3	1	1	1	2	1	17
計	7	9	2	3	3	2	1	2	1	30

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 1 月 23 日	66	14	15	95
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 1 月 23 日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 1 月 23 日	21 (31)	5 (5)	12 (12)	38 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内 5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 大船渡市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 57名、職員 17名

(2) 有症者の状況等

ア 1月22日（水）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月18日（土）から1月26日（日）にかけて、園児13名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院者1名（園児）を含め、有症状者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				計
	0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	
男	0	1 (1)	0	0	1 (1)
女	1	7	3	1	12
計	1	8 (1)	3	1	13 (1)

() 内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一関市内のグループホーム

(1) 施設の概要について

利用者 42名、職員 22名

(2) 有症者の状況等

ア 1月23日（木）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設利用者が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、1月19日（日）から1月26日（日）にかけて、利用者11名、職員2名に嘔吐等の症状があったことを確認。

ウ 入院者1名（利用者）を含め、有症状者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	利用者				職員	計
	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	60歳代	
男	2	0	0	0	0	2
女	2	2 (1)	4	1	2	11 (1)
計	4	2 (1)	4	1	2	13 (1)

() 内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年1月28日	70	14	16	100
平成30年4月1日～ 平成31年1月28日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年1月28日	21 (31)	5 (5)	12 (12)	38 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。 |
|---|

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（大船渡市内の小学校）

児童75名、職員15名

- 1月27日（月）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の当該施設児童が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、1月19日（日）から1月27日（月）にかけて、児童25名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						職員	計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	40歳代	
男	1	3	2	2	2	4	0	14
女	3	3	4	0	1	0	1	12
計	4	6	6	2	3	4	1	26

2 調査結果について

- 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年1月29日	73	14	16	103
平成30年4月1日～ 平成31年1月29日	48 (61)	0 (0)	10 (12)	58 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年1月29日	21 (31)	5 (5)	12 (12)	38 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 滝沢市内の保育所

(1) 施設の概要について

園児 127名、職員 48名

(2) 有症者の状況等

ア 1月31日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 県央保健所が調査を開始し、1月27日（月）から2月2日（日）にかけて、園児17名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院者1名（園児）を含め、有症状者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	40歳代	
男	3 (1)	3	0	0	2	0	0	8 (1)
女	4	1	0	0	3	1	1	10
計	7 (1)	4	0	0	5	1	1	18 (1)

（ ）内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 一関市内の認定こども園

(1) 施設の概要について

園児 203名、職員 41名

(2) 有症者の状況等

ア 2月3日（月）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の当該施設園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 一関保健所が調査を開始し、1月26日（日）から2月3日（月）にかけて、園児31名、職員4名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院者1名（園児、既に退院）を含め、有症状者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	40歳代	
男	4	2	0	5	2 (1)	1	1	0	15 (1)
女	2	5	3	6	1	0	1	2	20
計	6	7	3	11	3 (1)	1	2	2	35 (1)

（ ）内は入院患者再掲

(3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生状況】 (盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年2月5日	77	14	16	107
平成30年4月1日～ 平成31年2月5日	49 (61)	0 (0)	11 (12)	60 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年2月5日	22 (31)	5 (5)	12 (12)	39 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩舘 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（釜石市内の特別養護老人ホーム）

利用者 90名、職員 70名

- (1) 2月12日（水）に、当該施設から釜石保健所へ、複数名の当該施設利用者及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 釜石保健所が調査を開始し、2月5日（水）から2月15日（土）にかけて、利用者7名、職員5名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	利用者			職員				計
	70歳代	80歳代	90歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	
男	1	3	0	0	0	1	2	7
女	1	1	1	1	1	0	0	5
計	2	4	1	1	1	1	2	12

2 調査結果について

- (1) 施設及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 釜石保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年2月21日	82	14	16	112
平成30年4月1日～ 平成31年2月21日	53 (61)	0 (0)	11 (12)	64 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年2月21日	24 (31)	5 (5)	12 (12)	41 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・岩館 内5472】

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（奥州市内の小学校）

児童 672名、職員 55名

- (1) 2月27日（木）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の当該施設児童が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月22日（土）から2月27日（木）にかけて、児童53名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院者2名（既に退院）を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						職員	計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	50歳代	
男	9	7	1	2	4	5	0	28
女	18 (1)	1	1	0	2	2 (1)	1	25 (2)
計	27 (1)	8	2	2	6	7 (1)	1	53 (2)

2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年3月2日	84	14	16	114
平成30年4月1日～ 平成31年3月2日	56 (61)	0 (0)	11 (12)	67 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年3月2日	26 (31)	5 (5)	12 (12)	43 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 施設の概要について（奥州市内の保育所）

園児 46名、職員 18名

- (1) 3月18日（水）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、3月6日（金）から3月18日（水）にかけて、園児11名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院者1名（既に退院）を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	3	1	1	0	0	0	5
女	6 (1)	0	0	0	0	0	6 (1)
計	9 (1)	1	1	0	0	0	11 (1)

※（ ）内は、入院者再掲

2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成31年4月1日～ 令和2年3月19日	85	14	16	115
平成30年4月1日～ 平成31年3月2日	56 (61)	0 (0)	11 (12)	67 (73)
平成29年4月1日～ 平成30年3月2日	26 (31)	5 (5)	12 (12)	43 (48)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。